

令和5年（2023）12月1日～12月6日

令和5年度（2023）

第4回出雲市議会(定例会)
一般質問通告一覧表

令和5年度（2023）第4回出雲市議会（定例会）

一般質問通告一覧表 目次

12月1日（金） 10:00 開会			12月4日（月） 10:00 開会			12月5日（火） 10:00 開会			12月6日（水） 10:00 開会		
順番	議員氏名	ページ	順番	議員氏名	ページ	順番	議員氏名	ページ	順番	議員氏名	ページ
1	福島孝雄	3	1	伊藤繁満	10	1	西村亮	16	1	木佐宏	23
2	大場利信	4	2	高橋扶治夫	11	2	鐘推義憲	17	2	本田一勇	24
3	石橋広信	5	3	南浩二	12	3	後藤由美	18 19			
4	湯浅啓史	6	4	福田実	13	4	今岡久人	20			
5	大谷良治	7	5	児玉俊雄	14	5	長廻利行	21			
6	錦織稔	8	6	湯浅万里子	15	6	吉井安見	22			
7	板倉一郎	9									

質問者	20 福島孝雄
質問事項・質問内容	
(1) 出雲市農業の支援について	
<ul style="list-style-type: none"> ① 中山間地域及び、耕作条件不利地域への営農支援について <ul style="list-style-type: none"> ア 出雲農業未来の懸け橋事業での支援内容を伺う。 イ 新出雲農業チャレンジ事業での支援内容を伺う。 ウ 耕作条件不利地域支援への考えを伺う。 ② 農業機械のリース契約への支援について <ul style="list-style-type: none"> ア リース物件に対する補助への見通しを伺う。 ③ 飼料用米とWCSの今後の動向について <ul style="list-style-type: none"> ア 需要と供給のバランスを伺う。 イ WCSと加工用米の所得の比較を伺う。 ④ 和牛（肥育・繁殖）農家の現状と課題・今後の支援について <ul style="list-style-type: none"> ア 出雲市の頭数・農家件数の動向を伺う。 イ 買上げ価格の下落・飼料の高騰に対する支援を伺う。 ⑤ 政府の補正予算における畑作化交付金について <ul style="list-style-type: none"> ア 出雲市における要件達成件数と面積 イ 交付金支払い期日 	
(2) 出雲市における内部統制制度及び地方公会計について	
<ul style="list-style-type: none"> ① 内部統制制度の現状について <ul style="list-style-type: none"> ア 内部統制制度の役割と効果を伺う。 イ 県内の導入状況を伺う。 ウ 出雲市における内部統制制度の考え方を伺う。 ② 統一的な基準に基づく地方公会計の現状について <ul style="list-style-type: none"> ア 財務書類等の活用状況を伺う。 イ 今後、作成を早める考えはないか伺う。 ウ 公共施設マネジメント・行財政改革での役割を伺う。 	

質問者	22 大場利信
質問事項・質問内容	
(1) FDA路線（静岡および仙台便）の維持について	
<p>① フジドリームエアラインズ（FDA）が来年1月から静岡、仙台便を休止する旨を決定したことがマスコミから流れました。突然の発表で、コロナも明けこれから観光交流や経済交流を考えておられた市民の方々をはじめ出雲地域の関係の皆様へ衝撃を与えたと推察されます。特に、仙台便については出雲と東北地方を結ぶ路線として今後の交流が期待されておりました。市民の方々は今回の決断に至った背景や経緯、その理由についてはマスコミ報道で知るのみですので、執行部からの意見を求めたいと考えております。このような観点から以下質問いたします。</p> <p>ア 今までの両便の利用率と利用人数を伺います。</p> <p style="margin-left: 2em;">a 静岡便の就航時からの利用率とそれぞれの空港からの利用人数</p> <p style="margin-left: 2em;">b 仙台便の就航時からの利用率とそれぞれの空港からの利用人数</p> <p>イ 両便の運行を振り返っての見解を伺います。</p> <p>ウ 運休の理由とそれに対する市の見解を伺います。</p> <p>エ FDA路線（名古屋便を含めて）の維持に関し、市の今後の対策と支援について伺います。</p>	
(2) 長期金利上昇が市財政に及ぼす影響について	
<p>① 日銀は10月の金融政策決定会合で、大規模金融緩和策を継続しつつも、円安対策や民間市場の影響を考慮し、長期金利の上限を1%から1%超も容認する旨の決定をしました。長期金利の上昇が、本市の市債の利子負担の増加をもたらす、今後の事業、特に大規模事業の実施に少なからぬ影響を及ぼすと思われませんが、執行部として今後どのように対応される考えか以下伺います。</p> <p>ア 本市における地方債（一般会計、公営企業会計）の多くが政府系の公的資金からの借り入れと聞いています。令和4年度決算でみると多額の地方債残高が見られますが、固定利率の事業債の残高および変動利率の事業債の残高はそれぞれいくらか伺います。</p> <p>イ 変動利率の事業債や新規に借り入れる事業債の利払い負担額は、利率見直しにより当初予定した額よりも多額になると予想されますが、その影響額を伺います。</p> <p>ウ 償還利子の増額分については地方交付税措置があると聞いていますが、その内容を伺います。</p> <p>エ 来年度は中期財政計画の見直しの時期ですが、今回のような金利変動を加味した見直しを余儀なくされると思いますが、これについて伺います。</p>	

質問者	5 石橋 広信
質問事項・質問内容	
(1) 出雲市の観光客に100%楽しんでもらえる取組について伺う	
<p>① 出雲市の観光客の現状について</p> <ul style="list-style-type: none"> ア コロナ5類移行後の観光客数の推移（団体と個人）（R1の同時期との比較） イ 宿泊客数の推移（団体と個人）（R1の同時期との比較） ウ 観光客の市内観光への分布状況 エ 移動手段（一次交通、二次交通） オ 観光客を対象としたイベント企画の内容 <p>② 今後の出雲市の観光客誘致に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 課題と考え方 イ 宿泊客数増に向けての取組 ウ 観光客からの出雲市へのメッセージ <p>③ これからの出雲市の観光客への対策案</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 電動アシスト付き自転車の利用拡大とステーションの拡大 イ 出雲、平田、斐川、大社、湖陵、多伎、佐田の各地域の新たな宝物の発掘と各地域の観光マップの作成 ウ 観光客へのアンケートによる更なる出雲市の観光戦略アップ エ 出雲市の観光に関する司令塔となる組織の必要性 	
(2) 市役所の更なるやさしい窓口に向けての取組について伺う	
<p>① 市役所窓口における音のバリアフリー化と円滑な意思疎通に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ア アクリル板とマスク着用についての今後の対応方針 イ 窓口での市民の困りごととその対応策 ウ 軟骨伝導イヤホンの取り扱いについて エ コミュニケーション支援ボードについて オ UDトークなどコミュニケーション支援アプリの活用について 	

質問者	18 湯 浅 啓 史
質問事項・質問内容	
(1) 市長任期最終年となる令和6年度予算編成について伺う	
<p>① 飯塚市長は令和3年に市長就任以来、令和6年度は1期4年の任期の最終年度を迎えられる。就任初年度に市長施政方針の市政運営のポイントとして示された「脱炭素社会の実現」「デジタルファーストの推進」は、その成果が求められる年となる。令和6年度の予算編成に対する市長の考えを伺う。</p>	
(2) 市が発注する工事について、時間外労働の上限規制が及ぼす影響について伺う	
<p>① 働き方改革の一環として、労働時間の上限規制が適用され「2024年問題」として社会全体での対応が必要となる。</p> <p>ア 市が発注する工事についてどのような影響が出ているのか、あるいは、今後出ることが予想されるか。</p> <p>イ 工事の発注においては、工期の適正化や発注時期の分散化等、改善を図る必要があると考えるが、市の取り組みを伺う。</p>	

質問者	16	大谷良治
質問事項・質問内容		
(1) がん検診事業について		
<ul style="list-style-type: none">① がん検診の状況について<ul style="list-style-type: none">ア これまでの取組みイ がん検診の状況・検診受診率の推移ウ 市としての目標値と評価と課題② 希少がん検診への取組み<ul style="list-style-type: none">ア 相談窓口、診療連携等		

質問者	13	錦織 稔
-----	----	------

質問事項・質問内容

(1) 終活に不安を抱える方のためにエンディング・サポートの充実を

- ① 国が推奨する「アドバンス・ケア・プランニング（ACP）」の一環として終活（人生の最後を見据えた活動）サポートを実施している自治体が増えています。家族の形が変容する中、家族に代わって高齢者の人生の終盤を支えるサービスへの需要が高まっていますが、そもそも、こうしたサービスを提供する事業を規制したり監督したりする省庁や法律がなく、全国にどのような事業者がどこに幾つ存在するかも把握されていません。核家族化が進む中で、本市においても終活支援が必要と考えます。
- ア 高齢者の一人暮らしの世帯、65歳以上高齢化率も増加傾向にあります。また、デジタル化が進む中で本人しか知りえないこともあります。終活に関する相談にどのように対応されているのか伺います。
- イ 引き取り手のない遺骨の件数についての推移を伺います。
- ウ 終活支援を必要としている人は多いと考えます。本市としてエンディングノートなど終活支援の必要性について、どのように考えているのかの見解を伺います。

(2) 自治会等のデジタル化について

- ① 自治会等の地域住民の支え合いによる組織が弱体化し、地域コミュニティを維持することが難しくなっているように思います。核家族化が進み、家族の支え合いの機能が低下し孤独や孤立の問題も深刻化し、私たちを取り巻く社会環境が急激に変化する中で、安全に安心して暮らせる地域を守る自治会等の役割は非常に大きいと思います。
- ア 自治会等の地域コミュニティの弱体化について、どのような認識を持っているのか、また、地域コミュニティを維持するための支援の必要性について、どのように考えているのか伺います。
- イ 自治会等のデジタル化など、デジタル技術を活用しての地域コミュニティの再構築について、どのように考えているのか、また具体的にどのような取り組みを進めているのか伺います。
- ウ 高齢者の人口比率は高止まりし、中でも75歳以上の人口比率が増え続ける中で、今後は、地域コミュニティの担い手を、NPOや企業など、多様な人材や組織が柔軟に連携する中で、市民が安全に安心して暮らせる共助のしくみを構築することも必要かと思いますが、見解を伺います。

質問者	27 板倉 一郎
質問事項・質問内容	
(1) 自然災害による被災者支援について	
<p>① 毎年大雨などによる自然災害が頻発しています。そうした中、出雲市の自然災害による被災者支援について感謝する声がある一方で、まだまだ不足しているとの声もあります。そこで次の点を伺います。</p> <p>ア 被災者支援制度について伺う。また、現在の災害の認定基準を伺うとともに、基準が局所で頻発する災害に対応できておらず見直すべきと考えるが、市の考えを伺う。</p> <p>イ 出雲市独自の制度で、崩落土砂等撤去費助成金、居住家屋流入土砂撤去費等助成金は、被災された方の大きな支援になっているが、災害は土砂による被害だけでなく、竜巻などの突風や、洪水などによる浸水など様々である。この制度の対象を様々な自然災害に適用できるように見直す考えはないか伺う。</p> <p>ウ 2年前の災害復旧工事がいまだなされていないとの声がある。昨年及び今年の災害復旧工事の進捗状況および完了の見通しについて伺う。また、進捗が遅れている理由およびその対策について伺う。</p> <p>エ 災害復旧工事がなされていない箇所が、再度災害に遭い、被害が拡大した場合の補償は、どうなるのか伺う。</p>	

質問者	23 伊藤繁満
質問事項・質問内容	
(1) 県営出雲縁結び空港に係る喫緊の課題と対応策について伺います	
<p>① 島根県の空の玄関口である県営出雲縁結び空港のFDA静岡便・仙台便運航休止・終了に関わる一般質問を9月議会で行ったところでありますが、その後において、空港周辺住民の皆さまから時間外運航について切実な意見や要望が寄せられています。</p> <p>当該空港は、中海・宍道湖・大山圏域、約64万人の社会・経済活動をはじめ国内外から多くの観光・ビジネス客等の利活用に供されており、その役割は極めて大きいものがあります。山陰の拠点空港として海外とのチャーター便の開設等、更なる役割が期待されていますが、空港周辺住民の皆さまのご理解とご協力が極めて重要であります。</p> <p>以下、空港の離発着等に関わるかねてからの課題とその対応策について伺います。</p> <p>ア 現在出雲縁結び空港の運用時間は県条例で午前7時30分～午後8時30分まで13時間と決められています。ところが、決められた時間外の離着陸回数が近年は多く、常態化ともみられるような状況が続き、空港周辺住民の方々日々不安を感じています。どのように対応されているのか伺います。また、利用促進を図る観点から、ビジネス客等において予定された時間の遅延は定時運航の信頼性が揺らぐことにつながるわけであり、丁寧な説明と対応が求められています。その原因と今後の対応策について市の考えを伺います。</p> <p>イ 21世紀出雲空港整備利用促進協議会の令和5年度予算は41百万円余り、出雲市の拠出額（負担金）は6百万円余りとなっています。直近3か年の予算額は変わりませんが、出雲縁結び空港利用客増加につながる活動がどのように推進されてきたのか伺います。また、中海・宍道湖・大山圏域市長会の活動にシフトされていますが、肝心の21世紀出雲空港整備利用促進協議会の個別の活動がどの程度行われてきたのか伺います。</p> <p>ウ 出雲縁結び空港の利活用促進・利便性向上の観点からターミナルビルの改築、駐車場整備等について多様な意見や要望が出されていますが、一つ一つに対応されるのではなく、まとめて全体のレイアウトを示すべき時期と考えますが市の見解を伺います。</p>	

質問者	7 高橋 扶治 夫
質問事項・質問内容	
(1) これからの幼児教育と保幼小中連携について	
<p>① 現在は、各小学校単位にて、就学前児童と小学校が連携し、また各中学校区内においては、小学校と中学校が連携を図り、さまざまな交流活動や研究活動をしていくことが重要視されている時であります。</p> <p>こうした幼児期から小学校・中学校への教育の接続について、次の7点について質問します。</p> <p>ア 全国的に幼稚園が減少し、認定こども園が増加していますが、このことに対する市の見解を伺います。</p> <p>イ 閉園を迫られている幼稚園に対する市の見解を伺います。</p> <p>ウ 出雲市の保幼小連携について、現在の取り組み状況について伺います。</p> <p>エ 出雲市の小中連携について、現在の取り組み状況について伺います。</p> <p>オ 「小1プロブレム」と「中1ギャップ」の出雲市の現状を伺います。</p> <p>カ 第2期出雲市保幼小連携推進基本計画（令和元年度～令和5年度の5年間）をまもなく終えますが、この5年間の所感を伺います。</p> <p>キ 保幼小中連携の今後の方針を伺います。</p>	

質問者	2 南 浩 二
質問事項・質問内容	
(1) 小中学校の不登校対策について	
<p>① 出雲市及び島根県、国の平成25年度及び平成30年度、令和4年度の不登校児童生徒数と児童生徒1000人あたりの不登校児童生徒数について</p> <p>② 出雲市において不登校で実際に学びの機会を失っている児童生徒の具体的な人数（令和4年度）について</p> <p>③ 校内教育支援センターを含めて教育支援センターのあり方を考えていくことと、不登校の子どもたちの様々な状況に応じたフリースクールなどの多様な居場所が市内に増えるよう、出雲市として支援も含めた取り組みを強化していく必要があると考えるがそのあたりの現状と考えについて また、あわせて昨年12月の定例会の一般質問で「不登校児童生徒の支援を目的としたフリースクールの設置に関わる支援策は設けていないが、不登校児童生徒の状況を継続的に把握し、支援策の情報交換を行っていくためにも、フリースクールとの連携は必要である」という答弁がされているがその後の状況について</p> <p>④ 不登校支援を行っている市民団体の方と市長が面会し様々な意見交換をされたことが島根日日新聞の一面でも取り上げられていたが、この時にやりとりされた内容について</p> <p>⑤ 国が設置を推進している学びの多様化学校について、設置に向けて県とも連携をとりながら、まずは調査研究を進めていくべきだと考えるがこのあたりの認識について。また、10月に東京にある公立の学びの多様化学校2校に視察に伺ったことを聴いているがどのような学校だったのかについて</p> <p>⑥ 不登校児童生徒の保護者が抱える課題や保護者のケアについてももっと考えていく必要があると思うが、市として関係者に直接聞き取りし、今後の施策の構築に生かして行く考えの有無について</p>	

質問者	3 福田 実
質問事項・質問内容	
(1) 現在の草刈り対策状況と今後の草刈り対策について	
<p>① 現状の草刈り助成制度では地域の維持・管理が難しいと考えます。そこで、以下の質問をいたします。</p> <p>ア 現在の草刈り助成にはどのような制度があるのかお聞かせください。</p> <p>イ 現在の草刈り助成の対象となる箇所をお聞かせください。</p> <p>ウ 今後の対応策などあればお聞かせください。</p>	
(2) 市内公共交通と地域内交通の現状と今後について	
<p>① 現在、さまざま公共交通機関での人手不足が社会全体の問題になっています。本市においてもこのことによって、市民の皆さんの移動手段が今後確保出来ない状況も考えられます。市独自の移動手段の構築が早急に必要と考えます。そこで、以下の質問をいたします。</p> <p>ア 現在の市内公共交通の現状をお聞かせください。</p> <p>イ 現在の地域内交通の現状をお聞かせください。</p> <p>ウ 今後、人手不足などで地域内交通の維持はますます厳しくなってくると考えますが市の所見を伺います。</p>	

質問者	12 児玉俊雄
質問事項・質問内容	
(1) 地域の魅力を創出する取組みの検討状況について	
<ul style="list-style-type: none"> ① 地域が活用しやすい支援制度の創設や見直しに関し、検討された事項をお尋ねします。 ② アフターコロナにおける各地区での地域行事の取組み状況に関して市が把握されている情報を伺います。 ③ 地域行事の復活に関する市の対応状況を伺います。 ④ 市とコミュニティセンター、自治会等をつなぐデジタルネットワークの進捗状況をお尋ねします。 ⑤ コミュニティセンターの役割や機能、業務内容を検証し、あらためてコミュニティセンターのビジョンを示す考えはないか伺います。 ⑥ コミュニティセンターの組織強化に向けた市職員の活用やコミュニティセンター職員の配置基準の見直し、処遇改善などの検討状況を伺います。 	
(2) 農地利用の将来像を描く「地域計画」と「目標地図」について	
<ul style="list-style-type: none"> ① 「地域計画」の策定に向けて「協議の場」を設けるとのことであったが、これまでの開催状況や協議の内容、メンバーを伺います。 ② 「地域計画」は令和7年3月までに策定することとされていますが、それまでのスケジュールを伺います。 ③ 「目標地図」は一筆ごとに将来の耕作者を定めることとされていますが、地籍調査がされていなくても支障はないのか伺います。 ④ 「地域計画」を策定する協議の中で農地を「農業上の利用が行われる区域」と「保全等を進める区域」に整理することとなっていますが、農業上の利用が行われる区域を増やすために、土地改良に対する支援を拡充する考えはないか伺います。 ⑤ 「保全等を進める区域」はどのような利用が好ましいのか、また、そのような話し合いがなされるのか伺います。 ⑥ 中山間地域農業に対してどのような展望を持って「地域計画」の策定に取り組まれるのか伺います。 	

質問者	4 湯 浅 万 里 子
質問事項・質問内容	
(1) 農作物の被害も減らして、ジビエ料理が楽しめるオシャレな街に	
<p>① 令和5年の夏は、長期間雨が降り、晴れると気温が上がり連続で猛暑日となり、花の時期に長雨で実がならないカボチャやトマト、野菜の値段も最近まで高値でした。そして人間だけでなく、山で暮らしているはずの動物が里に出てきて有害鳥獣となり、田畑を荒らしていきます。被害は連日のようにニュースに流れました。そこで今後の出雲市は、農家の皆さんが安心して農業を営む事が出来て、ジビエ料理も楽しめる街になれば、有害ではなく有益な鳥獣となると考え質問します。</p> <p>ア 有害鳥獣には、どんな動物がいるのでしょうか。そのうち、ジビエとして利用できる動物にはどんなものがありますか。それぞれの現在のジビエ利用率はどのくらいでしょうか。</p> <p>イ ジビエとして利用するために最適な捕獲の方法、罠、檻の設置、猟銃等、知識や免許が必要になりますが、どこで取得出来ますか。出雲市には免許をもっている方は何名いらっしゃいますか。</p> <p>ウ 罠にかかっても、山の中や、谷だと運び出すことが困難だと聞きましたが、ジビエとして利用するには鮮度を保ちながら少しでも早く解体施設に行く必要があります。現在の施設は佐田町にあります。平田の山からではとても遠いです。移動式の解体処理車があればジビエ利用量が増えます。市の考えを伺います。</p> <p>エ 野生鳥獣の鮮度を保ちながら安全に食べるためには免許が必要ですが、免許の取得の方法と、外食だけでなく、家庭でも安心してジビエ料理を作れるように商品として安定供給することのできる流通の方法をお聞きします。</p> <p>オ 有害鳥獣捕獲、駆除されたものをペットフードにしたり肥料にしたり革を鞆や靴として製品化したり最後まで利用することが命を無駄にしないことだと考えます。ジビエ料理教室、革製品の製作教室、などジビエ利用拡大で現在進行中のイベント情報がありましたら、教えてください。</p>	

質問者	21 西村 亮
質問事項・質問内容	
(1) 公共事業に係る入札制度の現況	
<ul style="list-style-type: none"> ① 公共事業に係る入札の不調・不落の要因 ② 不調・不成立の今後の課題、対策（善後策） ③ 建設業者等、監督・指導・話し合い（会議）の現況 ④ 災害復旧事業と今後の方針と課題 ⑤ 働き方改革の在り方、指導・会議等の現状 ⑥ 入札参加に関する事項 ⑦ 事業者のランク付けに関する事項 	

質問者	6 鐘 推 義 憲
質問事項・質問内容	
(1) 『出雲市都市計画マスタープラン』について伺う	
<p>① 『都市計画マスタープラン』は、長期的視点に立った都市の将来像を明確にし、その実現に向けた大きな道筋を明らかにするもので、都市計画法第18条の2において『市町村の都市計画に関する基本的な方針』として定められています。本市においては、平成17年3月の新設合併を受け、平成22年2月に『出雲市都市計画マスタープラン』が策定され、その後、平成23年10月の斐川町の編入合併により、平成25年9月に『出雲市都市計画マスタープラン(斐川地域)』が補完する形で策定されています。</p> <p>そして先般、令和5年度の市長施政方針では、今年度から2年をかけて、新たな『出雲市都市計画マスタープラン』の策定に着手し、令和6年度末の完成を目指す旨と発表されました。</p> <p>そこで、本市における現行の『出雲市都市計画マスタープラン』及び次期『出雲市都市計画マスタープラン』について、次の通り伺います。</p> <p>ア 現行の『出雲市都市計画マスタープラン』</p> <ul style="list-style-type: none"> a 都市づくりの分野別整備方針の取組状況及び進捗状況について b 前回の市民アンケート調査での意見に対する取組状況について <p>イ 次期『出雲市都市計画マスタープラン』</p> <ul style="list-style-type: none"> a 策定の体制とロードマップ、住民参加の方法について b 市民アンケート調査について c 本市の現況と都市づくりにおける主要課題について d 目標年次について e 本市の将来人口及び将来都市像について f 分野別都市整備の方針について g 新たに対応すべき課題・重点化すべき課題について <ul style="list-style-type: none"> i 持続可能性や地球環境に配慮した取り組み(SDGsと脱炭素社会への取り組み) ii 空き家の適正管理 iii 公共建築物及び公共インフラ施設の適正な維持管理 iv 自然災害に対する備えの強化(河川の整備・改修等) v 「コンパクト・プラス・ネットワーク」の取り組み <p>ウ 島根県の『都市計画区域マスタープラン』</p> <ul style="list-style-type: none"> a 出雲都市計画区域の整備、開発及び保全の方針について b 内容の見直しについて 	

質問者	11 後藤由美
質問事項・質問内容	
(1) 船津町の豪雨対策について	
<p>① 今年7月、上津地区から市に要望が出された船津町の豪雨対策である「宇那手川のしゅん濇」と「排水門の開閉基準の見直し」の2点を9月議会において質問したところ、「船津町の浸水対策を国・県・市で協議する」との答弁がありました。そこで伺います。</p> <p>ア その後、宇那手川のしゅん濇と排水門の開閉基準の見直しについて、国・県・市でどのような協議がなされ進行しているのか、現状を伺います。</p>	
(2) 放課後児童クラブの土曜日開所について	
<p>① 今年5月より放課後児童クラブにおいて、土曜日に児童の利用がない場合でも終日職員が複数出勤しなければならないようになり、現場からは戸惑いの声が寄せられています。昨年度末に厚生労働省から「放課後児童クラブにおける開所時間の考え方について(Q&A)」が示され、出雲市から市内各児童クラブ運営委員長宛てに通知が出されたことが発端です。そこで伺います。</p> <p>ア 土曜日に利用する児童がいなくても、8時から18時まで10時間2人の職員が実際に勤務しなければ「開所日」とカウントされないよう変更されました。児童がいなかったからと開所しなかった場合、開所日数が年間250日を満たさず、国の交付金算定に大きく関わるとの指導が市からなされ、児童がいなくても土曜終日2人の職員が出勤しています。現場からは「市からは環境を整えたり掃除をなど言われるが、日々きちんとやっている」「実情に応じた対応をお願いしたい」など、様々な意見が出されています。これらの実態をどう認識しているのか、伺います。</p> <p>イ 国は放課後児童クラブの開所時間について、「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準」において原則の開所時間を規定していますが、利用児童の保護者の就労時間などを踏まえ、各市区町村の条例及び各クラブの運営規程等において定めれば良いとしています。市は特例を設けるなどの、実態に応じた対応をとるべきです。所見を伺います。</p>	

(3) 子育て支援に逆行する給食費値上げは撤回を

① あらゆる物価高騰が続き保護者の家計を圧迫する中、出雲市は来年4月から学校給食費の値上げを行おうとしています。内閣府が行った少子化社会に関する国際意識調査（2020年）によれば、日本の子育て世代が最重要課題としたのは「教育費の支援・軽減」で69.7%であり、教育費負担の重さは子どもを持つことをためらう大きな要因に常にあげられ、教育費の負担軽減を国が本格的にすすめることが急がれています。また文部科学省調査によると、子どもの学習費の中で給食費が占める割合は小学生で11%、中学生で7%となっています。そもそも学校給食は教育の一環であり、憲法26条（義務教育無償）の実現へ、国の責任で無償にするべきですが、それを待たず市が無償化に踏み出すべき時です。そこで伺います。

ア 市は給食の材料高騰分を保護者に求めようとしています。幼稚園・小学校・中学校全児童・生徒の値上げ分を市が負担した場合、年間経費がどうなるのか伺います。

イ 今回の値上げにより、幼稚園1人分で年間4,704円、小学生1人分で年間6,076円、中学生1人分で年間5,684円上がり、子育て支援に逆行しています。全国的には「地方創生臨時交付金」等を使い、期間限定で無償化にしたり、小学校のみ、中学校のみ、または第3子のみなどの一部助成も広がっています。そんな中市は給食費負担増をやろうとしています。撤回すべきです。所見を伺います。

質問者	8 今岡久人
質問事項・質問内容	
(1) インバウンド政策の取組などについて伺う	
<ul style="list-style-type: none"> ① 今年度からインバウンド推進課として新たな体制で活動が始まりました。4月以降の活動状況はどのようになっていますか。 ② 出雲市としてインバウンド政策をどのように進められますか。 ③ どの国・地域に注目をしていますか。 ④ 外国人観光客に対して出雲のどんなところをアピールしますか。 ⑤ 地元の皆様に、外国人観光客対応についての説明会や研修会を行って、一体感のある観光地になってほしいと考えますが、いかがお考えですか。また、どのような取り組みを計画・実行されましたか。 ⑥ 二次交通が弱いと言われています。対策は立ててありますか。 	

質問者	30 長 廻 利 行
質問事項・質問内容	
(1) 出雲市の新たな観光戦略について	
<ul style="list-style-type: none"> ① 庁内推進本部を設置されたが、今どのような議論がなされているのか伺う。 ② 新たなコンセプトである「第2のふるさと出雲」「365日楽しめる出雲」の目指すところは何か。また、具体的にはどのようなことを展開していくのか伺う。 ③ 新たな観光戦略について、5つの重点施策を掲げているが、その進捗状況等について伺う。 	

質問者	1 吉井安見
質問事項・質問内容	
(1) ヤングケアラーについて	
<p>① 今年度から出雲市においてもヤングケアラー相談窓口を設置された。そこで次の点について伺う。</p> <p>ア 窓口設置のきっかけについて伺う。</p> <p>イ ケアラーが行う「ケア」とはなにか伺う。</p> <p>ウ ヤングケアラーの子どもたちに共通する点はなにか伺う。</p> <p>エ ヤングケアラーの解消のためには関係する機関の連携や意識の醸成が必要と考えるが、市の取り組みを伺う。</p>	
(2) 実情に寄り添った保育園（所）の入園（所）を	
<p>① 重度心身障がいのある子どもの保護者の方から相談をうけた。出雲市の『保育所入所の手引き』では、保育を必要とする事由の中に「親族の介護・看護」がある。そこで、次の点について伺う。</p> <p>ア 「親族の介護・看護」を理由に保育の必要性が認定されている件数を伺う。</p> <p>イ 「親族の介護・看護」の判定はどのような形で行われているか伺う。</p> <p>ウ 保育の必要性の認定にあたっては、各家庭・世帯の状況をつかみ柔軟な認定が必要と考えるが、市の所見を伺う。</p>	
(3) 保育園（所）の拡充を	
<p>① 希望する保育園（所）に入園（所）できない入園（所）未決定者は11月1日時点で200名を超えている。そこで、次の点について伺う。</p> <p>ア 年齢別の未決定者数と地域別の未決定者数を伺う。</p> <p>イ 未決定者のうち実際に保育園に入園していない児童数を伺う。</p> <p>ウ とりわけ0歳児・1歳児の未決定者が多いがその背景に何があると考えているか、市の所見を伺う。</p> <p>エ 受け入れ拡大のために定員の弾力化の措置が実施されているが、年度当初からこの措置をとっている保育園（所）がどれだけあるのか伺う。（施設数とクラス数）</p> <p>オ 弾力化の措置がとられたうえでも、入園（所）未決定者がこれだけの児童数になっている。0歳児・1歳児の入園（所）未決定を解消する抜本的な手立てを講じるべきと考えるが、市の所見を伺う。</p>	

質問者	15 木 佐 宏
質問事項・質問内容	
<p>県議傀儡(かいらい)施策糾弾3、統合小学校用地が無かったとの9月議会における虚偽答弁は主権者冒涇(ぼうとく)、1反5百万円破格値買収実勢価格の40倍で恒常的水害犠牲者を救済しなければ刑事告訴をも思考！</p>	
<p>① 9月議会でしかる事業の不条理、市民不在の悪性を糺した処、飯塚市長は安井副教育長に《適切な用地がなかったと虚偽答弁》をさせた、さすが長岡市政踏襲宣言首長責任逃れはお上手、しかし稚拙な手法姿勢は即刻改められるべきと忠告しておきます。</p> <p>② 実勢値の40倍もの当該事業用地買収価額は、不動産鑑定により、適正であると豪語されるが、国富地内国富コミセン隣接地の最優良地「国富地域活性化協議会」から有効活用を書面により、当時の長岡秀人市長、教育長らに申し出がされている農地の近年2～3年の実際売買価格が1反15万円である、これが常識と！ 当該統合小学校事業用とし買収された当該用地は、世間では12万円程度が妥当価格と評されている、国富地区中心地区の一等地が15万円で、沼地のような最悪な農地が1千㎡500万円、あの森友学園事業騒動をほうふつ、陰謀が窺えませんか？！</p> <p>③ 当該統合小学校(旅伏小)取得用地は島根県のハザードマップに土石流災害警戒指摘・5つの戒名のご真ん中、さらに従前から船川氾濫県道通行止めの常襲地帯、出雲市行政関係に27人の防災安全士が存在するとか、現況熟知の県議と当該用地決定に関わった当時の平田行政区出身の飯塚市長を筆頭に他議員の問題意識と自覚の無さが悔やまれる。事件は全く解決していません、被災家屋に有らず愚かな悪性犠牲問題事件であることを全市民も、真の課題解決に至るまで自分事として向き合ってください！</p> <p>④ 当該統合小学校至近距離のお宅は、昨年床下浸水が発生し、本年7月の大雨では出雲市消防職員らの救援ボートで家族が避難される状況をNHKのニュースで全国放送、地元平田のわがとこテレビでも昨年今年も周辺一帯が湖！常態を克明に放送されている、にも関わらず、事業主体の杉谷学教育長も飯塚俊之市長も被災者(県議傀儡の水害犠牲者)のお宅へお見舞い訪問が一度もなされていない、出雲市のボランティアセンター関係者も床下浸水の後片付けに誰ひとり訪れていない、(ボランティアセンターの責任者は要請がなかったからとコメントされてはいるが)、氾濫した大社の稲佐川沿いの家屋にはあふれるほどの人々が後片付けされているニュースが報じられていた、公平・公正を欠いた本市の不適切対処を見せつけられた感を拭い切れないのは「平成の世直し人・唯ひとりだったのでしょうか？」全市民の皆さまも、出雲市政施策これで良いのか？ご家庭でも家族間で改めて話し合ってください！</p> <p>⑤ かような愚かな施策事業に因り、学校の敷地は見上げる程のかさ上げなされており、校舎や校庭は水没や発生しないでしょうが、周辺全体の道路のかさ上げは全く計画に無く、既に昨年と今年の2度も周辺一帯道路は水没し、大雨が降れば、正に宍道湖に浮かぶ嫁ヶ島に一変し、歩行者は勿論近付けないし、自家用車の送迎は元より、スクールバスをも当該学校への出入りが出来なくなるのは必至、出雲市はどのような解決策を計画なされているか、当該校区全住民が納得できる説明を願います。</p>	

質問者	14 本田 一 勇
質問事項・質問内容	
(1) 地域おこし協力隊員の現状について	
<p>① 出雲市の地域おこし協力隊員の現状について</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 今までの総人数はいくらか。 イ その内何人が市内に定住しているか。定住しなかった隊員から理由を聞いたか。 ウ 満期（3年間）まで活動したのは何人か。 エ 協力隊員は、期間中は公務員になるか。副業で稼ぐことは許されるか。 オ ミッション型の協力隊員の仕事とは何か。 カ 協力隊員は、地域を盛り上げる行事に平日は参加できるか。 キ 隊員からの要望は、あるか。例えば、どんなものか。窓口はどこか。 ク 隊員からの提案はあるか。例えば、どんなものか。 ケ 地域住民とのトラブルはないか。 コ 年収について、総務省から一人当たり480万円出るとされているが、実際の年収はいくらか。 サ 出雲市は地域おこし協力隊員に何を望んでいるか。 	